Creative Application A21

メディア実装の勘所2
存在と現象「ヴァーチャル・リアリティ」

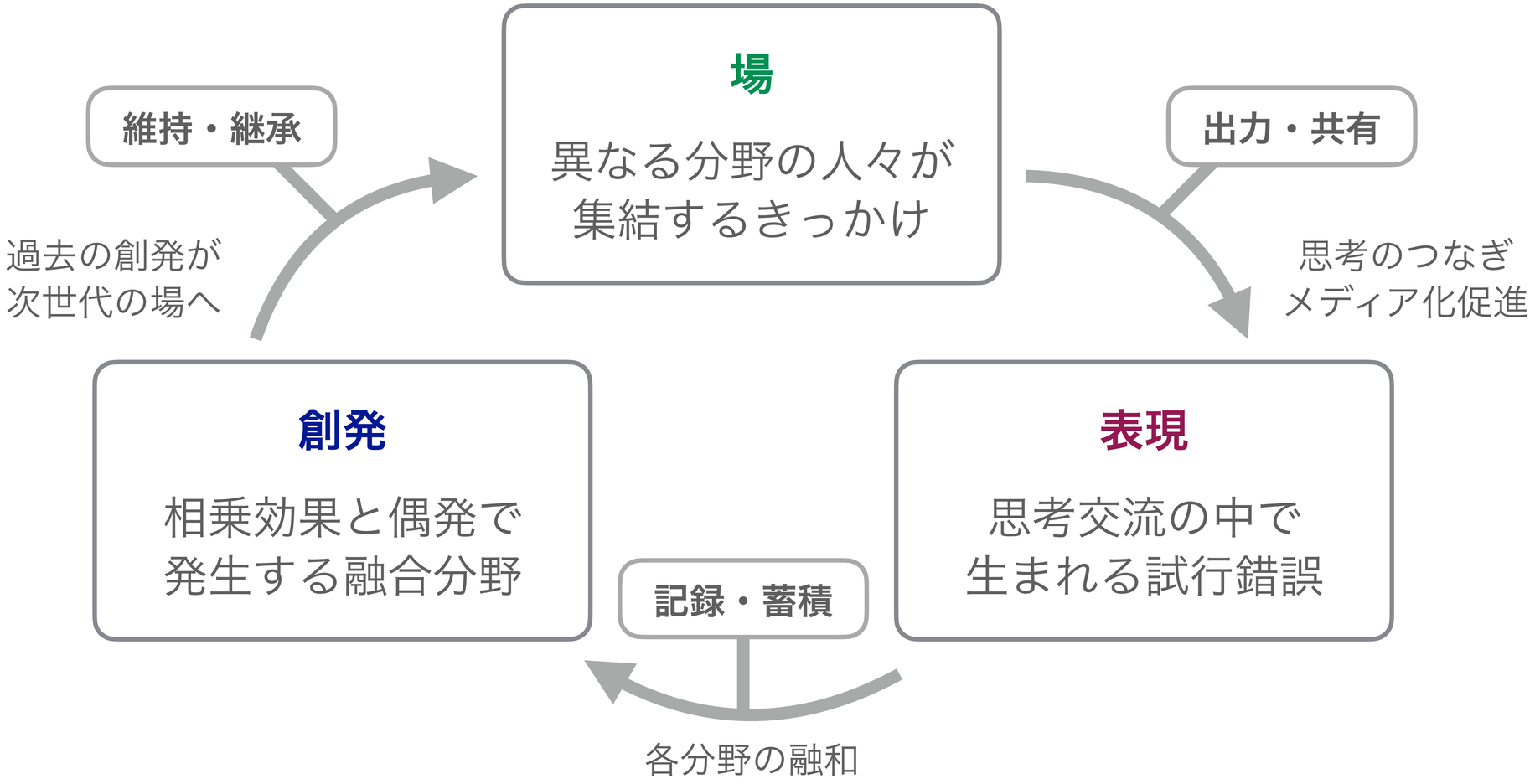
2025年度

渡邉 賢悟 (渡辺電気株式会社)

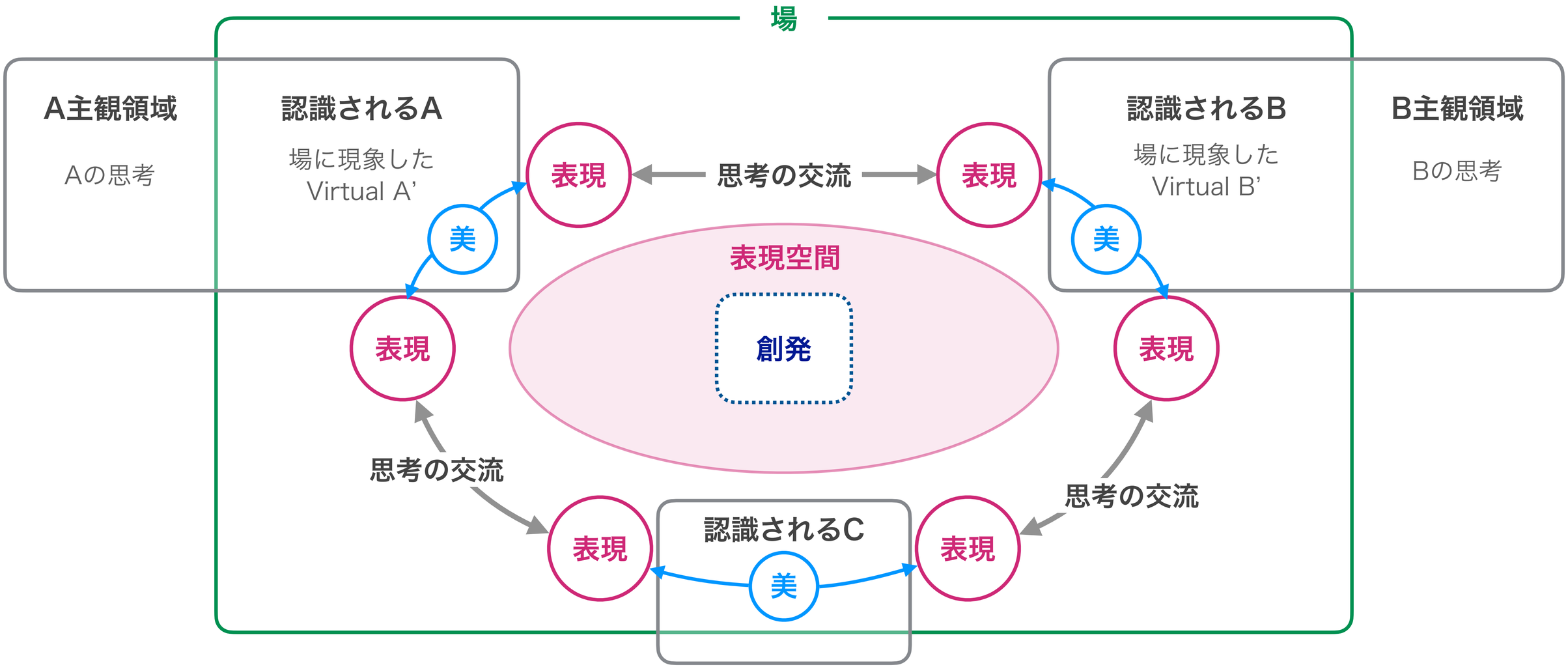
本日のテーマ

- **主観のReality - Virtualを窓口に社会へ存在感を示す**

[A04] メディア・サイクル



[A12] メディア・モデル


場
A主観領域
Aの思考
認識されるA
場に現象した
Virtual A’
表現
思考の交流
表現
認識されるB
場に現象した
Virtual B’
B主観領域
Bの思考
美
美
表現空間
創発
表現
表現
思考の交流
思考の交流
表現
表現
認識されるC
美

Virtual Reality1 - RealとVirtualの解釈

- **一般的なVirtual Reality**
  - 仮想現実
  - 素朴実在論的「現実」と, 対照にある「仮想」を技術で結びつけ
    「仮想」を「現実」のように扱えるようにする概念

- **メディア・モデルとVirtual Reality**
  - Real : とある場に限定したとき, 場の中に現象する**そのもの・存在・実在**
  - Virtual : ある主体のRealを, 他の場に合わせる形で現象させた**同質のもの**

Virtual Reality2 - RealとVirtualの交錯

- 「主体存在Aを表現したReal-AとVirtual-A」について考察する
  - **場αのReal-A ≒ 場βのVirtual-A**
    - 場αのReal-Aを場βに合わせて現象させたVirtual-Aは,

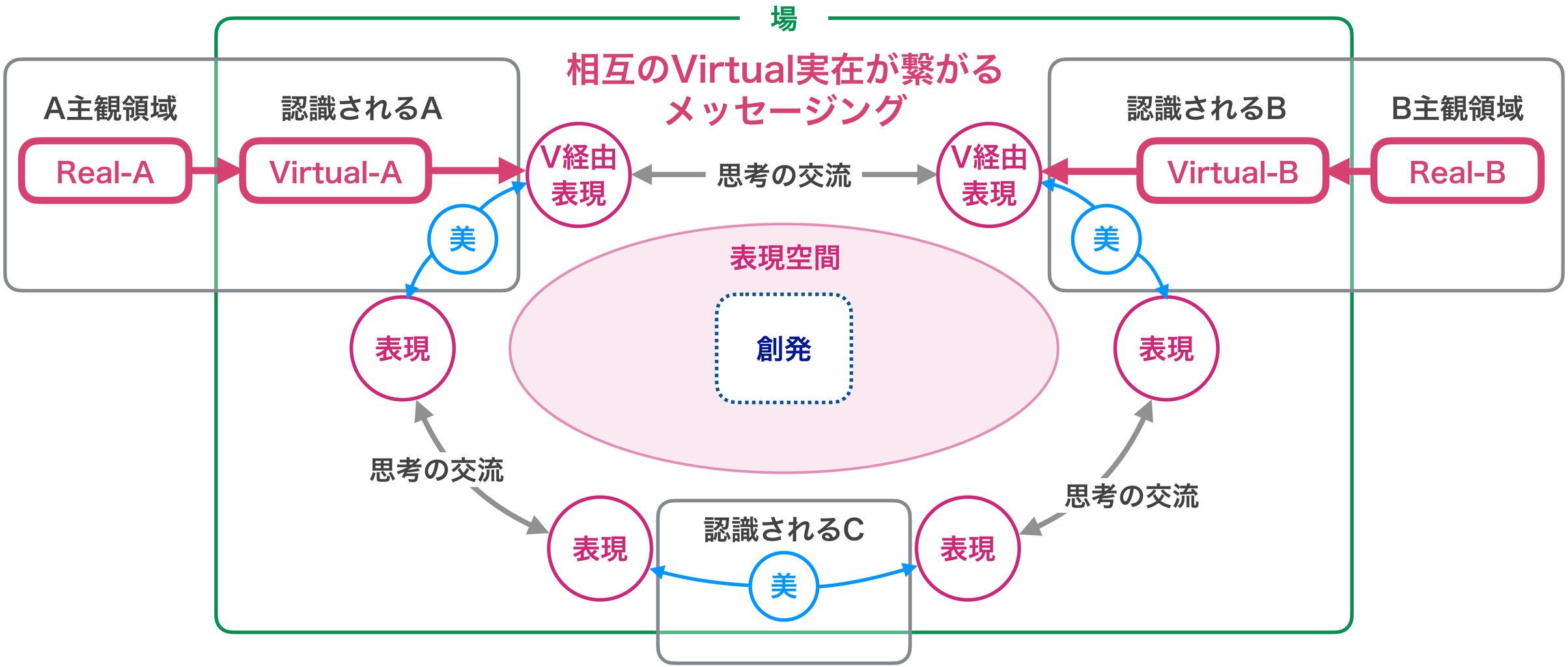
      姿は異なるが場βでは存在Aとして認識してもらえる
  - **場αのReal-A ≠ 場βのReal-A**
    - 逆に, 場αのReal-Aをそのまま場βに表現すると主体Aは誤解される
    - むしろ場βに合わせたVirtual-Aを示すほうが, 誤解の少ない主体Aを表現できる

Virtual Reality3 - Virtualのメディア性

- 「主体Aと同じ場にいる主体Bからみた視点」について考察する
  - **Virtual-A = Bが認識できる存在A**
    - Bにとっては, 場の中で触れるVirtual-Aが存在Aとして認識される
    - Bから見れば, Real/Virtual関係なく, 存在Aの見通しがよくなるのが重要

- **Virtualは場に照らした存在表現のメディア化**
  - 例) 主観領域のRealは, 場に沿ったVirtualで現すことで存在感を示せる
  - **表現もVirtualを通して場に伝える → Virtualの在り方は表現の前提であり窓口**

Virtual Realityとメディア・モデル



まとめ

- 従来のVirtual Realityの定義をメディア・モデルの視点で解釈した
  - Virtualは場における存在の窓口であり, 主観のRealそのままを開示するより在り方が伝わりやすい(演出の意味)

- **ヴァーチャル・リアリティ**
  - RealとVirtualは本質的に同質である点からの再解釈
  - 場に照らしたVirtualはほぼRealとして振る舞うし, Realでもある
    - 場にいる他者から見れば, それ(場に照らしたVirtual)が自然なRealとも認識される

- メディア実装においては…
  - 我々は主観的なReal表現を欲求するが, 必ずメディアとしてVirtual表現を介することになる
  - 実装の展開先も場であるから, 展開先の場の特性を見極めたVirtual表現を積極的に確立すべき
  - **適切なVirtual表現を通すことで実装のメディア性を高める. 普及の促進, 社会利益を向上させうる**

本日の談義・考察一助

a. VTuberは, Realか? Virtualか?

b. Youtuberは, Realか? Virtualか?

c. 参加者各自のRealとVirtualの解釈はどのようなものだろうか

d. メディア実装を行う場で確立するVirtualに必要な構成要素はなにか

次回予定

メディア実装の勘所3

折衷と合一「マルチメジャー・メディウム」

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶,「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶,「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦,「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一朗, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳,「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳,「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳,「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹,「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004